

柔道整復師募集案内

YONEDA HOSPITAL

2024 年 4 月入職者 対象

YONEDA

YONEDA HOSPITAL YONEDA CLINIC

はじめに

当院は整形外科単科病院・診療所として、一般的な整形外科疾患の他、スポーツによるケガ、手の外科、人工関節手術や関節リウマチの治療も得意としています。

平成27年秋に耐震建替工事が完了し、外来・入院病室も充実した環境となりました。

患者さん本位の医療を提供するため、医師・看護師・薬剤師・放射線技師・リハビリスタッフ・その他関係職種とともにチーム医療を推進しています。

専門職の経験を積みながら、チームYONEDAの一員として一緒に働きましょう！

経営理念

患者さん中心の医療を目指す

1. 高水準で安全な運動器医療の提供
2. 各医療職種の人材の持ち味を生かす
3. 地域医療連携

YONEDAグループ 5つの目標

1. 双方向コミュニケーション
2. 標準化
3. 全体最適
4. 透明性
5. 継続性



リハビリテーション科のご紹介

病院外来部門では、柔道整復師が予診や診察補助、そして医師の指導のもとに整復・固定・患者指導などを行っています。経験豊富な医師の診察を間近で見ることにより、固定やリハビリにおけるポイント、患者さんへの説明方法などを直接見たり聞いたりすることができる環境です。

また、病院・クリニックのリハビリ部門では理学療法士が勤務しています。

クリニックリハビリ部門では、午前中は高齢者を中心に骨折、脱臼などの急性期外傷後や変形性関節症などの疾患のリハビリを行っており、午後は学生、スポーツ競技者などを中心に前十字靱帯損傷(術前後)や投球障害などスポーツ障害に対するリハビリテーションを行っています。病院リハビリ部門では、手術後の患者さんを中心に、早期社会復帰のための積極的なリハビリテーションを行っています。

理学療法士も多く勤務しており、お互いに切磋琢磨し、良い環境のリハビリテーション科を作り上げることを目的に、定期的な勉強会を開催し、学会発表などにも積極的な支援を行っています。また、当院は日本相撲協会の指定病院となっており、希望者は大相撲名古屋場所の救護活動にも参加しています。

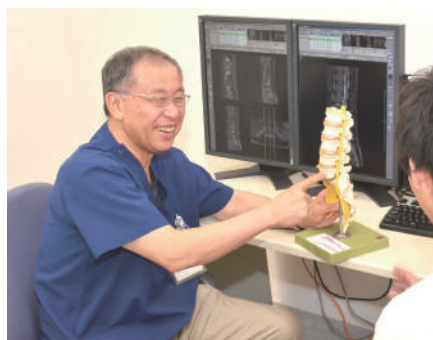
当院は大変多くの患者さんが来院されるため常に忙しい環境です。

ゆったりとした環境で業務を行いたいと考えている方には不向きである職場だと思います。

しかし自分の持っている能力(知識、技術、接遇)を発揮して患者さんに喜んでいただき笑顔が見たい。

また多くの仲間(他職種も含め)とコミュニケーションをとりチームの一員として働きたい。

そして多くの症例を経験することで自分自身が成長したいと思っている方には、大変適した職場であると確信しています。



リハビリテーション科の目標

1. 各職種との良好なコミュニケーションを通して業務の質を確保する。
2. 高水準で安全な保存療法・運動療法を提供する。
3. 職員が気持ちよく働き、互いに成長し続けることのできる職場を目指す。

YONEDAの取り組み

電子カルテ

電子カルテは保存性・真正性・見読性に優れ、毎日の業務を円滑に行うことができます。
当院では患者さんの個人情報や診療内容を全て電子カルテで管理しています。

チーム医療

医師、薬剤師、看護師、柔道整復師など、他職種とのコミュニケーションが非常に活発です。
チーム医療の一員として、広い視野で患者さんを支えることができるようになります。

CSとESの向上

CS（顧客満足度）とおなじように、ES（従業員満足度）の向上が大切だと、当院の経営者は考えています。
ESに対する主な取り組みとして、職員食堂の充実、資格手当などの他、残業時間をできるだけ減らし、有給休暇や育児休暇などを積極的にとることを奨励しています。また、ハラスメントとみなされる行為が黙認されないよう、コンプライアンスに関しても整備を進めています。

リハビリテーション科のPOINT

POINT 1

着実にスキルアップできる！

患者さんにとって最良な医療を提供できるよう、固定や整復などの柔道整復術のテストを適宜行い、合格した柔道整復師のみ患者さんに施術をすることができます。
また、休憩時間や診療終了後を利用して先輩や同僚とともに練習を行ったり、先輩について整復や固定の現場に入り、見学しながら臨床経験を積むことができます。

POINT 2

圧倒的な症例数・外傷数！

当院は人員・施設ともに高い専門性を兼ね備えており、更に接骨院との医接連携が盛んなため、他の医療機関と比較し圧倒的な症例数・外傷数を誇っています。
その中で、初めて受診された患者さんにお話を伺ったり、徒手検査等を行う医療面接、医師の指示の下に行う整復や固定、理学療法士とともに行う運動器リハビリテーションなど、柔道整復師のスキルを発揮できる環境が整っています。

POINT 3

実践的に医接連携を学べる！

新患の約15%が接骨院からご紹介いただいた患者さんであり、当院では積極的に医接連携を行っています。
当院の柔道整復師は、日常診療の第一線である米田病院の外来でも活躍しており、接骨院との情報提供書のやりとりは医師の指導の下に主として柔道整復師が行っています。
紹介状や情報提供書の書き方のマナーはもちろん、接骨院の先生方の見立てやその後の連携の流れなどを実践的に学ぶことができます。

POINT 4

ハイレベルな診療現場で最先端の医療が体感できる！

医療機関での治療で非常に重要なのは「診断力」です。当院では、股関節・膝関節専門、小児の骨折、リウマチ、腰椎分離症、アキレス腱断裂などを得意とするハイレベルな医師が在籍しています。また、名古屋大学整形外科医局の各専門班に所属する非常勤医師（脊椎／腫瘍／リウマチ／手の外科）が、大学から正式に毎週巡置されており、最善の診断と診療方針の決定をスピーディーに行うことができます。

さらに「診断力」を高めるため、高性能の画像診断装置により、さらに詳しく病態を把握し正確に診断することが可能です。このように当院では、最先端の知識と技術を兼ね備えた医師とコミュニケーションを取りながら、チーム医療を推進しています。

POINT 5

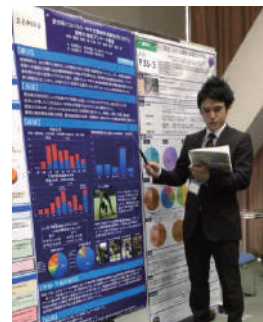
万全の患者さんサポート体制！

入院リハビリを行う病院、通院リハビリを行うクリニックの両施設の連携により、「入院前リハビリ・診察→入院中のリハビリ→退院後リハビリ・診察」の一連の流れに対するフォロー体制も整備しています。

POINT 6

院内勉強会・院外発表のバックアップ！

昼の休憩時間などを使い、先輩や後輩と固定・整復などの練習や相談ができるだけでなく、医師も参加する院内勉強会で高い評価を得た内容については、学会発表が全面的に支援されます。これまでに、日本整形外科スポーツ医学会学術集会、日本足の外科学会学術集会、日本臨床スポーツ医学会学術集会などの大きな学会で、当院の柔道整復師たちが発表を行いました。



POINT 7

充実した医療機器！

超音波画像診断装置・筋電図・等速性筋力測定装置などの医療検査機器が充実しており、それらを使用し知識を深めることができます。動作解析設備も備えており、投球や歩行などの研究も可能です。

POINT 8

大相撲名古屋場所で力士の救護活動ができる！

毎年7月に行われる名古屋場所中は、リハビリテーション科より1日2名が派遣されています。

8:30～18:00まで支度部屋の一角で待機しており、取組後の外傷処置などを行っています。



POINT 9

仕事とプライベートの両立を応援！

YONEDAでは有給休暇の取得を奨励しており、リフレッシュをしっかりとできるような体制を整えています。有給休暇の取得は、健康だけでなく職場の安全にもつながっています。

1日の流れ（例）

[1日勤務の日（月・火・水・金）]

8:30	業務開始 朝礼 準備 カルテチェック
9:00	午前の診察開始 診察補助 予診 固定 など ※クリニックの受付補助・診察補助あり
12:30	休憩 昼食 会議 勉強会 など
15:00	午後の診察開始 診察補助 予診 固定 など ※クリニックの受付補助・診察補助あり
19:00	業務終了



[半日勤務の日（木・土）]

8:30	業務開始 朝礼 準備 カルテチェック
9:00	午前の診察開始 診察補助 予診 固定 など ※クリニックの受付補助・診察補助あり
12:30	業務終了





新入職員研修

入職初日には、柔道整復師の業務に関するガイダンスのほか、接遇研修や施設案内、出勤・退勤ルールの確認などを行います。この日から、米田病院職員としての新たな日々が始まります！

指導体制

「半年～10ヶ月程で自立して業務を行えるようになること」を目標としています。

自立した後も、もちろん、アドバイスやフォローは継続していきます。

教育係以外にも複数名の先輩がフォローにあたるため、

多角的視野を養うことが出来ます。

※教育体制は年度毎に検証、実施をくり返しています。

4月

社会的基礎ルール、事務的業務、施設基準の理解

5月

宿直開始（1～2回/1ヶ月）

4月～翌1月

予診、整復（術者・助手）、固定（ギプス・プライトン・アルフェンス）、リハビリ、松葉杖指導、物療の取扱、各種書類の作成方法について順次学ぶ

POINT！

- ☐ 先輩の患者さんへの対応を見学したり、教育係の指導を受けながら自立を目指します。
- ☐ まずは基本的な項目（接遇含む）から学びます。
- ☐ 習熟度を確認するため、毎月テストを行い自立度を判断します。クリアすればSTEP UP!!
- ☐ リハビリは理学療法士の指導やフォローがあり、より専門的な知識・技術が身につきます。



翌1月頃

自立!!



フォロー体制

教育係とともに業務手順の確認・評価を行いながら、無理なく進めていく体制をとっています。一方的に進むのでは無く、個々の技量にあわせて進めていきます。



当院に勤務する柔道整復師の多くは、3年間の勤務を経て、新たなステージに向けて「卒業」していきます。
米田病院で柔道整復師としてのキャリアをスタートし、2023年3月に退職した方々の声をご紹介します。



古田 裕未 さん
5年間勤務

私は学生の頃に、米田病院で患者として手術も経験し、何度もお世話になりました。その経験が柔道整復師になろうと思った理由の一つでもあります。そして柔道整復師となり、米田病院で5年間の研修期間を終えた今、本当に貴重な経験をさせていただいたと心から実感しております。5年間の研修で、主に医師の診察前に行う問診業務や、医師の指示の下、骨折や脱臼等の外傷に対する整復・固定、診察補助などの業務を経験させていただきました。

また、米田病院にはいくつかの研究班があり、私はアキレス腱断裂班に所属し、多くのアキレス腱断裂の患者様の対応をさせていただきました。毎週の勉強会では、海外文献を翻訳し最新の知識を学ぶことができ、他にも医師を中心とした学術集会での発表するなど、他施設では経験できない、多くのことを経験し学ばせていただきました。

米田病院は、MRI/CT/XPと検査機器も揃っているため、問診で対応した患者様の検査結果を確認できることや、身近に医師の診察内容・考えに触れることができ、コミュニケーションがとれるため、**医療機関で働く柔道整復師の環境として米田病院はとても魅力的だと思います。**

まだまだ未熟者ですが、柔道整復師として、そして一人の社会人として成長できたのは、諸先輩方をはじめ、同期・後輩の存在があったからだと思っています。この場お借りして、関わってくださった皆様に感謝申し上げます。

最後に、この歴史のある米田病院で働けたこと、そして柔道整復師としてのスタートが切れたことは本当に良い経験でした。この経験を生かし、これからも頑張りたいと思います。

5年間、本当ありがとうございました。



三浦 大輝 さん
4年間勤務

私は関東地方の大学で柔道整復師の資格を取得した後、新卒として米田病院へ入職し、4年間従事させていただきました。

外来での問診や外傷処置、多数の医師とのコミュニケーション、チーム医療、地域の接骨院との連携、学術活動など、**米田病院には自分次第で大きく成長できる環境があります。**柔道整復師が従事する医療機関としては日本の中でも希有な環境だと思います。

中でも私が米田病院への入職を希望した最も大きな理由は、YONEDAグループの先輩方が心底“誇り”を持って仕事をし、真に患者さんの役立つための努力を惜しまない姿に感銘を受けたことです。伝統のある米田病院には経験豊富でとても熱い魂を持った先輩方がたくさんいらっしゃる事が何よりの特徴であり強みだと感じています。

是非、先輩方やOB/OGの先生方にも指導を仰ぎ、米田病院の環境を活かして目的をもって仕事をしてみてください。とても貴重な経験が得られると思います。

最後に、4年間沢山のご指導をいただいた職員の方々やOB/OGの先輩方に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



長尾 美紅 さん
4年間勤務

私は、柔道整復師として4年間米田病院に勤めさせていただきました。

業務を通して、私は**社会人として働くという姿勢や態度、人間関係、柔道整復師としての病院での役割等を学びました。**この学びはどのような職についても必要になるものであるため、それをここ米田病院で学べたことは私にとって大きなものになりました。

また、米田病院でアキレス腱断裂に対しての治療に約3年間ほど関わらせていただきました。毎週土曜日の業務前に行う勉強会では、世界中のアキレス腱に関する報告(英論文)について翻訳し、最新の治験について学ぶことができます。それだけではなく、当院で治療を行ったアキレス腱断裂の治療成績や症例についての学術集会での発表や、論文の作成などを経験させていただきました。1つの疾患についてこれほどまで深く学ぶことができることは、米田病院の良いところだと思います。そして、常に勉強することの大切さや、経験した内容を学会発表や論文作成を通して情報発信していくことの重要性を学ばせていただくことができました。

この場をお借りして、関わってくださった皆様にお礼申し上げます。

4年間でしたがありがとうございました。



脇坂 侑汰 さん
3年間勤務

3年間という短い期間ではありますが、米田病院で勤務させていただいたことに感謝しております。すごく充実した3年間でした。数え切れないほどの出会いがあり、頼りになる先輩・優しさ溢れる同期・可愛い後輩に助けられ今日まで取り組むことができました。また、他部署の方々にも沢山フォローしていただき感謝でいっぱいです。

また、多くの患者さんと接する中で、柔道整復師としての仕事の厳しさや責任の重さを学ぶとともに、この仕事のやりがいや素晴らしさを改めて感じました。米田病院では急性外傷の対応に予診・問診、医師の診察補助等、多くの貴重な経験をさせていただきました。

また、米田病院にはいくつかの研究班があり、私はアキレス腱断裂班として3年間活動させていただきました。アキレス腱を断裂してしまった患者さんの対応に毎日のように走り回り、上手くいったこと・いかなかったこと、悩むこと等多々ありましたが、米田病院でしか経験ができない貴重な経験をさせていただきました。米田實先生をはじめとしたアキレス腱断裂班の皆さんから、**1つの疾患に対して深く学ぶ事の大切さと楽しさを教えていただきました。**

米田病院を通して経験した全てが私にとってかけがいのない宝物です。今後も柔道整復師として、自分らしく患者さんと向き合えていけたらなと思っております。

今日までありがとうございました。



竹内 慈乃 さん
3年間勤務

米田病院では3年間柔道整復師として勤務させていただきました。

私が米田病院を選択した経緯としては、幅広く経験し少しでも広い視野をもって患者様と関わりたいと思ったからです。

入職した時は何も分からない状態でしたが、米田病院では**問診や整復、固定など柔道整復師ならではの業務を一から教えていただきました。**問診では受傷機序から考えられる疾患や鑑別すべき疾患を考えながら聴取すること、固定では各疾患に対する固定肢位や固定範囲などを教えていただきました。教科書で学んだことがある症例でも、臨床の現場に出て問診したり鑑別したりすること、医師の指示のもと治療に携わっていくことの難しさを実感しました。また、他職種との連携についてもたくさん教えていただきました。

入職してからは環境の変化に慣れずすぐ大変でした。辛いことや落ち込むこともたくさんありましたが、家族や周りの方に支えられ頑張ることができました。

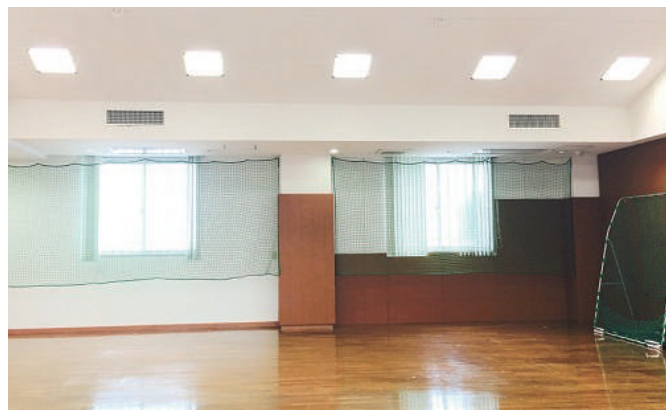
米田病院で培った知識を活かして今後も働いていきたいと思います。

施設案内

310㎡の広々としたリハビリ室(クリニック1F)



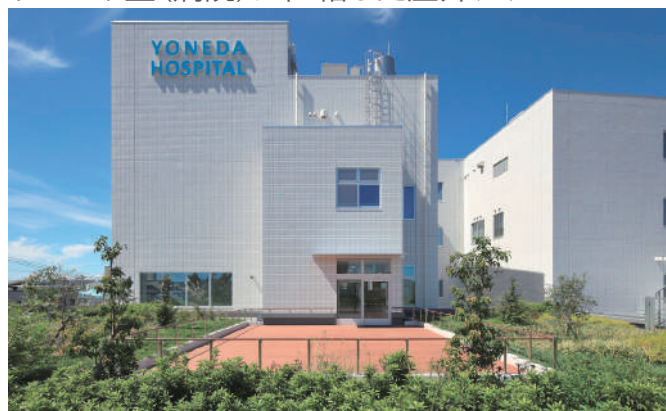
アスリハも可能なリハビリ室(クリニック2F)



280㎡の広々としたリハビリ室(病院)



リハビリ室(病院)に直結した屋外テラス



MRI(2機)をはじめとする様々な検査機器



患者さんにもスタッフにも優しい
ワンフロアの整形外科病棟(54床)



整形外科に特化した手術室(3室)



YONEDAグループの米田柔整専門学校で
最新の各種医療雑誌や書籍の閲覧が可能



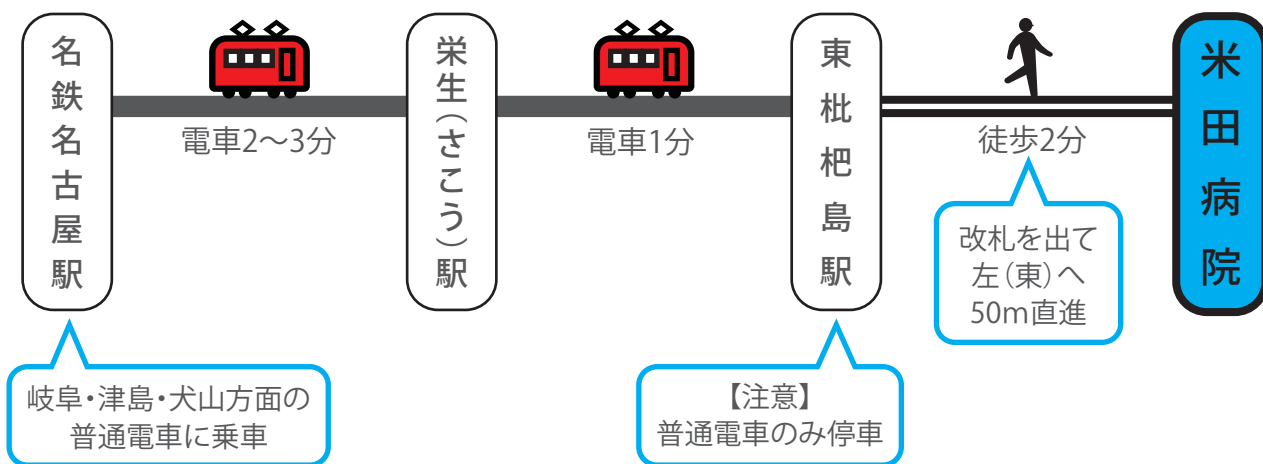
アクセス

〒451-0053

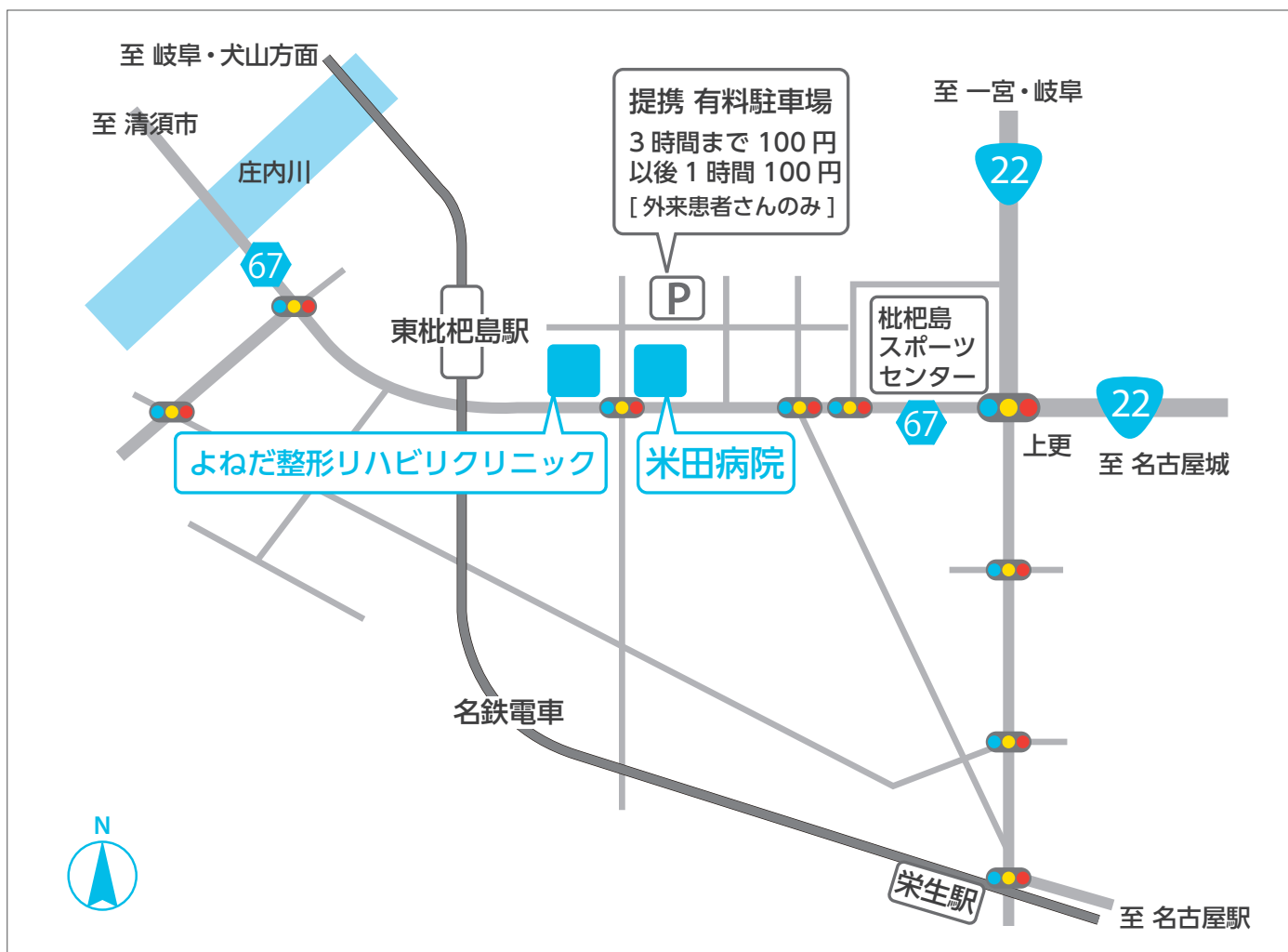
愛知県名古屋市西区枇杷島一丁目11番5号 ☎052-521-6406

■ 公共交通機関でお越しの方(名鉄)

名古屋駅から2駅、東枇杷島駅から徒歩2分。名古屋駅からのアクセス◎



■ 周辺地図



募集要項

職種	柔道整復師
勤務地	米田病院 よねだ整形リハビリクリニック
勤務時間	週40時間
勤務体制 ※基本シフト	病院外来① 8:30～12:30／15:00～19:00 病院外来② 8:30～12:30／14:30～18:30 病院外来③ 8:30～12:30／13:30～17:30 クリニック外来 8:30～12:30／14:30～18:30 木・土 8:30～12:30

- ・1ヶ月に3回程、宿直業務があります。
- ・柔道整復師の平均残業時間は1ヶ月あたり2時間程度です。